

病害虫発生予察注意報第1号

病害虫名：トマト黄化葉巻病（病原ウイルス：TYLCV）
（タバココナジラミ バイオタイプQ）

1 発生予想 今後、トマト黄化葉巻病（TYLCV）とその媒介虫のタバココナジラミ バイオタイプQが南信地域以外でも、発生する恐れがある

2 対象地域 全県のトマト、ミニトマト、およびトルコギキョウ施設栽培

3 根拠

- （1）本年9月、南信地域のトマト栽培施設においてトマト黄化葉巻病（トマト黄化葉巻ウイルス）と媒介虫のタバココナジラミ バイオタイプQの発生が確認された。その後、周辺の複数施設（トマト）においても、同病害虫の発生が確認された。
- （2）トマト黄化葉巻病の病原ウイルス（TYLCV）は、タバココナジラミ類により媒介され、トマトだけでなくトルコギキョウにも感染する。
- （3）これまで、冬期の気温が低い本県においては越冬できないとされていたが、近年では暖冬傾向にあることに加え、トマト、ミニトマト、トルコギキョウなどの施設加温栽培では越冬可能と考えられ、今後発生が拡大する恐れがある。

4 防除対策と留意点

- （1）苗の導入に際しては、病原ウイルスがフリーでタバココナジラミが未発生なものとする。
- （2）施設栽培では、出入口などの開口部に0.4mm目合い程度の防虫ネットを張り、開放状態にしない。また、光反射マルチ資材等を設置し、媒介虫の施設内への侵入を防ぐ。
- （3）施設内外に黄色粘着板や黄色粘着テープを設置し、成虫の早期発見と捕殺を行う。
- （4）施設周辺の雑草や野良生えトマトは、タバココナジラミの発生源となるので抜き取り等による除草を徹底し、適切に処分する。
- （5）トマト黄化葉巻病に似た症状を発見したら、速やかに病害虫防除所又は最寄りの農業農村支援センターへ連絡する。
- （6）罹病株を処分する際は、根から株ごと抜き取りビニール袋等に入れ密封し（40℃、10日以上）、完全に枯死させ土中に埋却する。

5 参考（タバココナジラミ バイオタイプQについて）

- （1）詳細は地区注意報（令和5年9月29日付病害虫発生予察地区報第3号）を参照する。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/bojo/joho/byogaichu/documents/chikuhoudai3gou3.pdf>



（問合せ先）

担当 長野県病害虫防除所（中南信担当）
山口、嵯峨
電話 0263-53-5642
ファクシミリ 0263-54-4508
電子メール bojo-y@pref.nagano.lg.jp